

|      |        |           |            |        |     |
|------|--------|-----------|------------|--------|-----|
| 講義名  | 日本文化論  |           |            | 授業形態   |     |
| 担当教員 | 藤原 喜美子 | 開講期・曜日・時間 | 後期 金曜日 2時限 |        |     |
|      |        | 単位数       | 2          | 履修開始年次 | 1年生 |

**主題と概要**

テーマ：日本の日常生活（生活文化史）の特色  
この講義の目的は、日本の文化にねざす民俗(日常生活)の特色を学ぶことにある。文化は文字に記されている史料以外に、文字に記されていない民俗資料からも窺える。例えば、家や地域に伝わる習慣や言い伝え(伝承)が、私達の日常生活の特色を知る手段になる。そこで、日本の日常生活の中で受け継がれてきた項目を具体的に取り上げ、講義を進める。

**到達目標**

学生が、講義の内容を理解した上で、自分の日常生活の特色(地域性)に気付き、興味のある事柄を見つけ、自らの言葉で説明できるようにする。

**提出課題**

講義では毎回、講義内容に関わる感想文などを記入し、小レポートとして提出してもらう。感想文のテーマは、講義ごとに伝える。小レポートとは別に、講義に関連した指定のテーマについて、学期末レポートの提出を求める。学期末レポート課題の詳細は別途、12月前半に、講義中の説明ならびにRYUKA portal「キャンパスクロス」の掲示を通して指示する。

**課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法**

毎回の講義に書いてもらう感想文の内容は、提出後に次の回の講義などで、日本の日常生活の事例として紹介する。

**評価の基準**

評価は、平常点（各回の感想文などを記した15回分の小レポート、60点）、学期末レポート（40点）を総合して行う。評価の基準は、第1回の講義の時にシラバスの用紙を配付し、詳細を伝える。

**履修にあたっての注意・助言他**

1. 予習や復習で調べた内容や講義中に大事だと思う箇所は、メモをとること。
2. 講義開始時間に着席しておくこと。
3. 講義中に私語をして、他の人の受講の妨げにならないように注意すること。

**教科書**

.使用しない。

**参考図書**

.なし。

**その他**

<プリント資料>  
各回毎、プリント資料を配布する。  
プリント資料は無くさないように保存すること。  
<参考文献>  
講義中に適宜、紹介する。

**授業計画**

講義の進め方の詳細は、第1回の講義の時に説明する。

- 第1回 「日本文化とは、生活文化史をどのようにとらえるか」  
本節内容：授業計画に記してある講義テーマを確認し、各自が興味のある事柄を1つ調べておく（120分）。  
復習内容：配布資料を読み、講義内容の要点を確認し、各自の身近な事例を考えてみる（120分）。
- 第2回 「住居」 地形や気候に応じた各地の住まい  
本節内容：授業計画に記してある講義テーマを確認し、各自が興味のある事柄を1つ調べておく（120分）。  
復習内容：配布資料を読み、講義内容の要点を確認し、各自の身近な事例を考えてみる（120分）。
- 第3回 「衣服」 木綿の登場  
本節内容：授業計画に記してある講義テーマを確認し、各自が興味のある事柄を1つ調べておく（120分）。  
復習内容：配布資料を読み、講義内容の要点を確認し、各自の身近な事例を考えてみる（120分）。
- 第4回 「食制」 八日の日の食事  
本節内容：授業計画に記してある講義テーマを確認し、各自が興味のある事柄を1つ調べておく（120分）。  
復習内容：配布資料を読み、講義内容の要点を確認し、各自の身近な事例を考えてみる（120分）。
- 第5回 「生業」 海や山で仕事をする人々  
本節内容：授業計画に記してある講義テーマを確認し、各自が興味のある事柄を1つ調べておく（120分）。  
復習内容：配布資料を読み、講義内容の要点を確認し、各自の身近な事例を考えてみる（120分）。
- 第6回 「贈与・社交」 社会と人々  
本節内容：授業計画に記してある講義テーマを確認し、各自が興味のある事柄を1つ調べておく（120分）。  
復習内容：配布資料を読み、講義内容の要点を確認し、各自の身近な事例を考えてみる（120分）。
- 第7回 「労働・村構成」 ユイの心  
本節内容：授業計画に記してある講義テーマを確認し、各自が興味のある事柄を1つ調べておく（120分）。  
復習内容：配布資料を読み、講義内容の要点を確認し、各自の身近な事例を考えてみる（120分）。
- 第8回 「人生儀礼」 誕生・結婚の儀礼  
本節内容：授業計画に記してある講義テーマを確認し、各自が興味のある事柄を1つ調べておく（120分）。  
復習内容：配布資料を読み、講義内容の要点を確認し、各自の身近な事例を考えてみる（120分）。
- 第9回 「人生儀礼」 葬送儀礼  
本節内容：授業計画に記してある講義テーマを確認し、各自が興味のある事柄を1つ調べておく（120分）。  
復習内容：配布資料を読み、講義内容の要点を確認し、各自の身近な事例を考えてみる（120分）。
- 第10回 「年中行事」 大正月と小正月  
本節内容：授業計画に記してある講義テーマを確認し、各自が興味のある事柄を1つ調べておく（120分）。  
復習内容：配布資料を読み、講義内容の要点を確認し、各自の身近な事例を考えてみる（120分）。
- 第11回 「年中行事」 お盆  
本節内容：授業計画に記してある講義テーマを確認し、各自が興味のある事柄を1つ調べておく（120分）。  
復習内容：配布資料を読み、講義内容の要点を確認し、各自の身近な事例を考えてみる（120分）。
- 第12回 「神祭」 神祭を行う人々  
本節内容：授業計画に記してある講義テーマを確認し、各自が興味のある事柄を1つ調べておく（120分）。  
復習内容：配布資料を読み、講義内容の要点を確認し、各自の身近な事例を考えてみる（120分）。
- 第13回 「舞・踊・競技」 盆踊り・初風の風習  
本節内容：授業計画に記してある講義テーマを確認し、各自が興味のある事柄を1つ調べておく（120分）。  
復習内容：配布資料を読み、講義内容の要点を確認し、各自の身近な事例を考えてみる（120分）。
- 第14回 「言語芸術」 言葉・民俗語彙のもつ意味  
本節内容：授業計画に記してある講義テーマを確認し、各自が興味のある事柄を1つ調べておく（120分）。  
復習内容：配布資料を読み、講義内容の要点を確認し、各自の身近な事例を考えてみる（120分）。
- 第15回 「心意現象」 民間信仰  
本節内容：授業計画に記してある講義テーマを確認し、各自が興味のある事柄を1つ調べておく（120分）。  
復習内容：配布資料を読み、講義内容の要点を確認し、各自の身近な事例を考えてみる（120分）。

**授業形態（アクティブ・ラーニング）**

|                                      |  |
|--------------------------------------|--|
| ア：PBL（課題解決型学習）                       | イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態） |
| ウ：ディスカッション、ディベート                     | エ：グループワーク                                  |
| オ：プレゼンテーション                          | カ：実習、フィールドワーク                              |
| キ：その他（A・L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合） |  |

**卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連**

この授業は、全学共通科目の教養科目として、上記の主題と概要、到達目標の修得を通じて、本学のディプロマ・ポリシーのうち、特に次のような人材を育成することに貢献できる。  
(2) 知識を知識に転換することができる、論理的思考力を持った人材  
・課題発見・課題解決に必要な情報を見定め、適切な手法を用いて収集・調査・整理することができる(情報収集力)  
・収集した個々の情報を多角的に分析し、現状を正確に把握することができる(情報分析力)  
・現象や事象のなかに隠れている問題点やその要因を発見し、解決すべき課題を設定することができる(課題発見力)  
・さまざまな条件・制約を考慮して、解決策を吟味・選択し、課題の解決に向けた道筋や取組みを明らかにした上で、具体化することができる(構想力)

**双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述**

この講義は、プリントを用いた講義の形式で進める。

**実務経験の有無及び活用**

実務経験あり。講義担当者は日本民俗学(生活文化史)に関わる現地調査や文化財保護業務の実務経験を有しており、その実務経験を活用して授業を行う。

**備考**

《受講生へのメッセージ》  
この講義では、日本の私達の日常生活が、すべてテーマになる。そのため、目頃から自分の周囲の生活に関心を持ってもらいたい。また、日常生活における自らの体験談、他の人から教わった話も貴重な資料になる。各自が「当たり前と思う日常生活」には、「地域ごとの特徴がある」ということに気付いていただきたいと思います。